

研究課題：当院での急性散在性脳脊髄炎の臨床経過と後遺症についての検討

1. 研究の目的

急性散在性脳脊髄炎（ADEM）に対するステロイド治療では、ステロイドパルス後に経口ステロイドを3週間以上かけて漸減する症例が多いと報告されています。しかし、ADEMに対するステロイドパルス後の経口ステロイドの必要性について十分に検討された報告はないことが現状です。ステロイドパルス後、経口ステロイド漸減を行わなかったADEMの臨床経過を調べ、再発率や後遺症について検討します。

2. 研究の方法

本研究では、診療情報の対象期間を2005年5月から2020年12月とし、日常診療で実施された以下の項目の集計データを収集します。

- ・年齢・性別・臨床症状・検査所見・治療・再発/後遺症の有無

3. 研究期間

倫理委員会承認日から2022年3月31日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

電子診療録を用いて上記の項目を収集しますが、匿名化を行い個人が特定されることはありません。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

本研究は、個人情報取扱いに関して、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に適用される法令等に従い、本研究計画書を遵守して実施します。外部への資料・情報を提供することはありません。学会発表、論文により研究成果の公表する可能性はあります。

6. 研究組織

実施責任者: 埼玉県立小児医療センター 神経科 菊池健二郎

分担研究者:埼玉県立小児医療センター 神経科 浜野晋一郎、神経科 松浦隆樹、平田佑子、堀口明由美、竹田里可子、保健発達部 小一原玲子

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先
研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない
範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者
さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2
022年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さん
に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）